

# 平成27年度財政公表

今月号では、鏡石町財政状況の作成及び公表に関する条例の規定により、平成27年度上半期の予算状況及び9月度例議会で認定された平成26年度決算の内容について一般会計を中心にお知らせします。

## 【財政用語の解説】

- 【一般会計】**  
町の中心となる会計で、行政を運営するための基本的な経費を計上した会計のことです。
- 【地方債（町債）】**  
事業を行うために国や銀行から町が借り入れるお金のことです。
- 【繰入金】**  
各種基金の取り崩しや特別会計などから繰り入れるお金のことです。
- 【普通建設費】**  
道路、学校などの建設・整備に使われるお金のことです。
- 【扶助費】**  
社会保障制度の一環として、子どもや高齢者などに対して使われるお金のことです。

## 鏡石町の財政健全化判断比率の公表

### 財政健全化判断比率の状況

指 標	健全化判断比率	早期健全化比率
①実質赤字比率	-	15.0%
②連結実質赤字比率	-	20.0%
③実質公債費比率	13.9%	25.0%
④将来負担比率	29.4%	350.0%

※平成26年度決算に基づく数値

## 【健全化判断比率】

- ①**実質赤字比率**  
一般会計などの実質収支は黒字であり、実質赤字比率は該当ありませんでした。
- ②**連結実質赤字比率**  
一般会計などの実質赤字、公営企業会計の資金不足は発生しておらず、該当ありませんでした。
- ③**実質公債費比率**  
標準財政規模に対する一般会計などが負担する元利償還金などの割合は、13.9%で前年度に比べ1.9%減少しました。
- ④**将来負担比率**  
標準財政規模に対する一般会計などが将来負担すべき実質的な負債の割合は、29.4%と前年度に比べ17.3%減少しました。

## 各会計町債残高の状況（町の借入残高）

会 計 区 分	町 債 残 高
一 般 会 計	48億8,200万円
駅東土地区画整理事業特別会計	1億6,778万円
公共下水道事業特別会計	33億6,478万円
農業集落排水事業特別会計	4億1,949万円
上 水 道 事 業 会 計	13億7,624万円
合 計	102億1,029万円

平成26年度末現在

## 平成26年度各会計決算状況

会 計 区 分	歳 入	歳 出
一 般 会 計	70億9,304万円	68億7,119万円
国民健康保険特別会計	15億3,071万円	14億2,753万円
後期高齢者医療特別会計	9,710万円	9,331万円
介護保険特別会計	8億2,717万円	8億1,879万円
土地取得事業特別会計	3,902万円	3,900万円
工業団地事業特別会計	9,847万円	9,752万円
鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計	7,952万円	7,104万円
育英資金貸付費特別会計	769万円	769万円
公共下水道事業特別会計	5億2,882万円	5億2,150万円
農業集落排水事業特別会計	6,647万円	6,573万円
小 計	103億6,801万円	100億1,330万円
上水道事業会計	収益的	2億6,582万円
	資本的	4億 545万円
	計	6億7,127万円
合 計	110億3,928万円	107億3,656万円

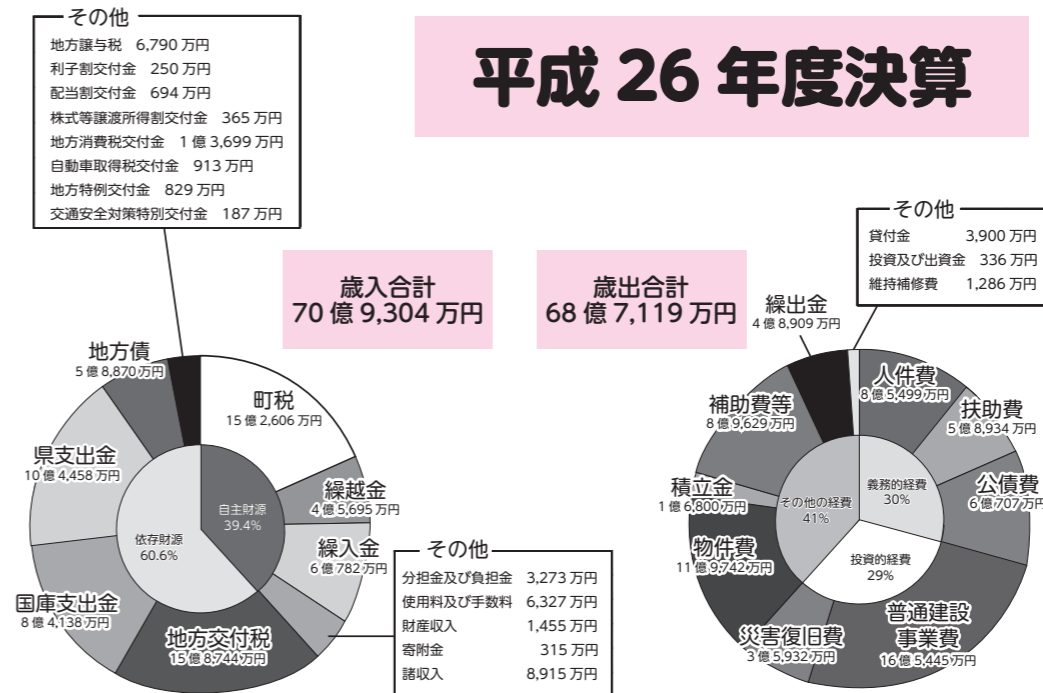
※上水道事業会計の資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんした。

## 基金積立金現在高の状況（町の貯金残高）

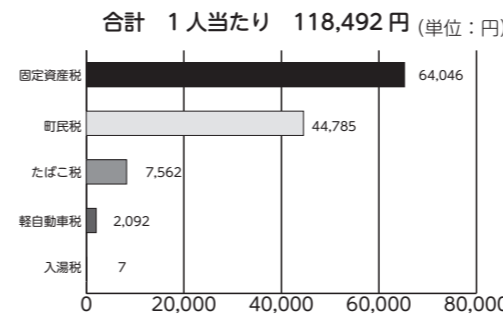
基 金 区 分	現 在 高
財 政 調 整 基 金	7億6,482万円
減 債 基 金	7,077万円
役 場 庁 舎 新 築 事 業 基 金	7億6,931万円
東日本大震災復興交付金基金	4,148万円
そ の 他	8億9,346万円
合 計	25億3,985万円

平成27年5月31日現在

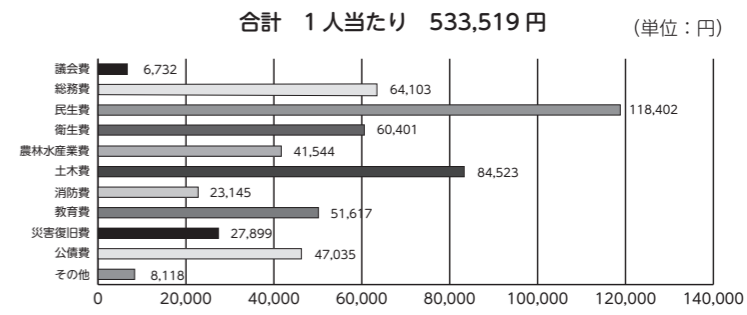
## 平成26年度決算



## 町民1人当たりの納めたお金



## 町民1人当たりに使われたお金



## 平成27年度各会計現計予算状況

会 計 区 分	予 算 現 計	
一 般 会 計	59億1,329万円	
国民健康保険特別会計	16億8,930万円	
後期高齢者医療特別会計	9,942万円	
介護保険特別会計	7億7,624万円	
土地取得事業特別会計	2,003万円	
工業団地事業特別会計	4,812万円	
鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計	2億2,998万円	
育英資金貸付費特別会計	1,113万円	
公共下水道事業特別会計	5億 652万円	
農業集落排水事業特別会計	6,834万円	
小 計	93億6,236万円	
上水道事業会計	収益的	2億3,771万円
	資本的	6億 342万円
	計	8億4,113万円
合 計	102億 349万円	

### 平成27年度上半期予算状況

平成27年度は東日本大震災からの復興事業が概ね完了し、復興事業と平常事業へシフトしてきていますが、引き続き大規模な予算となっています。歳出の主な内容は、診断の結果、建物等の補強が必要となっている中学校の耐震補強・大規模改修に工事費や委託料で3億7,500万円となっています。その他、原子力災害対策事



中学校耐震補強・大規模改修工事

業（一般住宅等除染対策事業等）6億1,841万円、防災関係事業（防災行政無線（固定系）設備更新等）として7,145万円を計上しています。

### 復旧・復興関係費による大規模な決算

平成26年度の一般会計決算は、70億9,304万円と過去最高となった昨年度と比べて11億1,403万円減少したものの復旧・復興事業により依然として大規模な決算となりました。歳入の主な内容は、町民の皆さんから納めていただく町税15億2,606万円、国から交付される地方交付税15億8,744万円、県庫支出金10億4,458万円などです。町税の歳入に占める割合は、21.5%と高いため、納期限内の納付が重要になります。一方、歳出の主な内容は、災害公営住宅建設事業4億6,350万円、鳥見山公園多目的広場改修事業1億7,898万円などです。しかし、災害公営住宅建設事業債の借入により町債残高は、4,294万円増加し、今後の借入等、引き続き計画的な財政運営を迫られています。